

### 7月から重監房跡の遺構を見渡せる展望台の一般公開を始めました。



【展望台を視察する藤田会長と岸厚生常任】

7月2日、一般公開が始まった跡地展望台を栗生楽泉園入所者自治会の藤田会長と岸厚生常任のお二人が視察しました。展望台は、跡地を一望できる高台にあります。

手作りのため粗末な造りですが、遺構の全体像をご覧いただけるように工夫しました。なお、地盤がやわらかいため車イスでは登れません。ご見学される方は、足元に気を付けて登ってください。

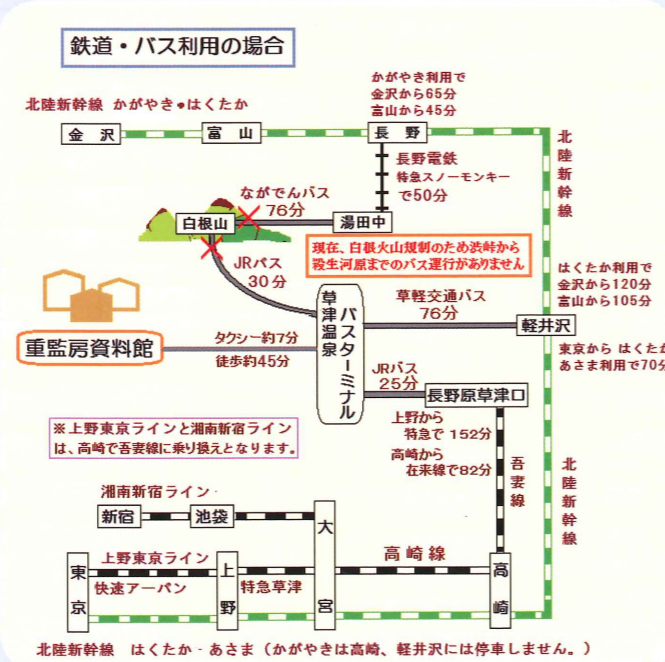
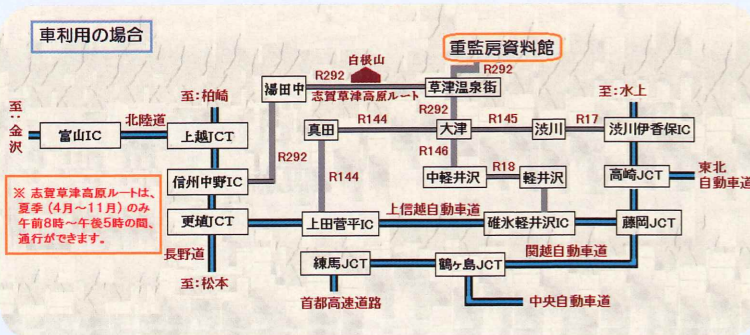
一般公開は、毎年4月26日から11月14日の間になります。冬季は積雪もあり、安全のため閉鎖いたしますので、あらかじめ、ご承知おきください。

### ご利用案内・アクセス

入館料…無料

※個人見学は4月26日から11月14日の期間となりますのでご承知おきください。

区分	フルオープン期間 (4月26日～11月14日)	団体専用期間 (11月15日～4月25日)
受付対象	個人及び団体	団体・学校 予約のみ
開館時間	午前9時30分～午後4時00分 (最終入館午後3時30分)	午前10時00分～午後3時30分 (最終入館午後3時00分)
休館日	毎週月曜日・火曜日(祝日の場合は翌日) 国民の祝日の翌日、館内整理日	毎週土曜日・日曜日 国民の祝日、年末年始、館内整理日



# 重監房資料館だより



### 開館以来の来館者が1万人を越えました。



【マスコミ取材に応ずる山本様ご夫妻(1万人目のお客様、右後は藤田会長)】

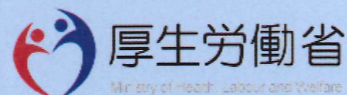
当館は、昨年4月の開館以来、多くのお客様にご見学いただき、6月25日までの来館者延べ数が10,017人に達し、1万人を越えました。1万人目のお客様は、静岡県からお見えになった山本明様、洋子様ご夫妻で、草津への温泉旅行の途中にお立ち寄りくださいました。お二人は、栗生楽泉園入所者自治会の藤田会長と1万人感謝のクスダマを割り、会長から記念品が贈られました。その後、マスコミの取材に「ハンセン病の歴史を学びたいと思って来ました。まさか1万人目とは思わず驚きました。」とお話しされておられました。

### 重監房資料館だより「くりう」第5号【季刊】

発行日：平成27年(2015年)8月1日/企画・編集・発行：重監房資料館

〒377-1711 群馬県吾妻郡草津町草津白根464-1533 TEL：0279-88-1550 URL：http://sjpm.hansen-dis.jp/

重監房資料館はハンセン病をめぐる差別と偏見の解消を目指して国(厚生労働省)が設置した国立の資料館で入館は無料です。



### 日本ハンセン病学会で跡地の基礎構造調査について発表しました。



【跡地の土壌について中間報告する松岡博士】

6月1日から3日にかけて、香川県高松市のアルファあなぶきホールに於いて、「第88回日本ハンセン病学会総会・学術大会」が開催されました。今回の担当施設は、国立療養所大島青松園で、園長の新盛英世先生が会長を務めました。当館からも北原主任学芸員が参加して「特別病室（重監房）跡地の基礎構造調査と保全対策」について発表しました。

また、国立ハンセン病資料館の黒尾学芸部長が第1次発掘調査の際に採取した跡地の土壌分析について、日本ハンセン病学会理事長の松岡博士と国立感染症研究所ハンセン病研究センターの甲斐博士が共同で行った実験結果の中間報告も行われ、松岡博士から、「まだ、結論には至っていないものの、興味深い実験結果が得られた。」との報告が成されました。

このほか、多くの研究者による学術報告があり、大会は盛況のうちに閉幕しました。



【次期会長として挨拶する坂本栗生楽園長】

今回の担当施設は、国立療養所栗生楽園に決まり、当館も事務局の一員として大会運営に参画することとなりました。閉会式では、次期会長に選出された国立療養所栗生楽園の坂本浩之助園長が登壇して挨拶し、来年の草津での開催をアピールしました。

### 群馬県博物館連絡協議会に加盟しました。

昨年日本博物館協会加盟に続き、5月15日（木）に、重監房資料館が群馬県博物館連絡協議会加盟の承認を受け、群馬県内においても博物館の仲間入りを致しました。78ある加盟館のひとつとして、博物館活動や社会教育の発展に協力し、内外に群馬県の博物館等の活動をアピール、発信してまいりたいと思っております。



70 じゅうかんぼうしりょうかん 重監房資料館

〒377-1711 高須郡草津町草津白根4-64-1533  
TEL: 0279-88-1550 FAX: 0279-88-1553  
http://sjpm.hansen-dis.jp/

ハンセン病問題と人権を考える  
重監房（特別病室）とハンセン病問題に関する資料の収集・保存と調査・研究の成果を発表することにより、人の命の大切さを学び、広くハンセン病問題への理解を促すことで、ハンセン病をめぐる差別と偏見の解消を目指す活動をしています。

開館時間 4/26-11/14（フルオープン期間）：9：30～16：00  
11/15-4/25（団体専用期間）：10：00～15：30  
休 館 日 4/26-11/14（フルオープン期間）：月・火（祝日の場合は翌日）  
11/15-4/25（団体専用期間）：土・日、祝日、年末年始、館内整理日

入 館 料 無料  
駐車可台数 30台（バスは中型（9m以内）まで、駐車場利用可）  
交通案内 群馬県庁前バス停留所 徒歩約15分  
草津駅前バス停留所 徒歩約15分  
草津駅前バス停留所 徒歩約15分  
草津駅前バス停留所 徒歩約15分  
草津駅前バス停留所 徒歩約15分



出典：群馬県博物館連絡協議会パンフレット・2015-2016

### ハンセン病回復者の講話を聴く「語り部の日」を設けました。

昨年4月のオープン以来、多くのお客様から「映像も良いが、出来ればご本人にお会いして直接お話しを聴いてみたい。」とのご要望をお寄せいただきました。当館の設置目的には、「ハンセン病をめぐる差別と偏見の解消を目指す普及啓発の拠点」としての活動も含まれており、年々高齢化が進むハンセン病療養所の実状からも、今のうちに、当事者であられる回復者の皆さんから、ご自分の声で市民の皆様に直接語り掛けていただける機会を設けることとし、7月から「語り部の日」を設定いたしました。

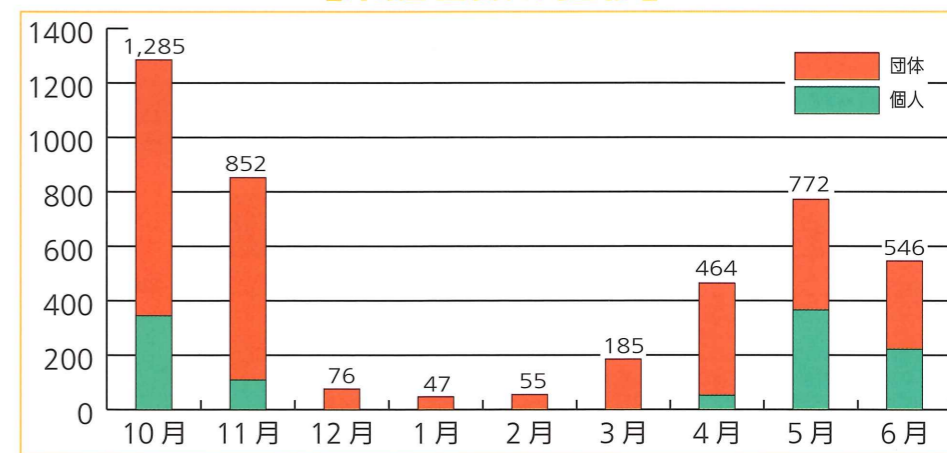
回復者の皆さんのお話しは、「語り部の日」の午後1時30分から午後2時までの30分間ですが、皆さんはご高齢のため、ご体調がすぐれない時や悪天候の場合などは予告なく中止することがありますので予めご承知おきください。

#### 【語り部の皆さんの予定（7月現在）】

- 石浦 教良さん 第2木曜日
- 岸 従一さん 第4水曜日
- 山形 弘喜さん 第3土曜日
- 藤田三四郎さん 不定期

聴講は完全予約制です。1回あたりの定員は30人で、定員になり次第締め切ります。聴講ご希望の個人様は、電話(0279-88-1550)にお問い合わせください。団体様は、団体申し込みフォームの備考欄にその旨を記入して送信してください。なお、回復者の皆さんのご都合によってはお受けできない場合がありますのでご了承ください。

#### 【来館者数の推移】



#### お客様の声（来館者アンケートより抜粋）

- ◎国の当時の意思決定が、後々まで禍根を残す結果になってしまったことについて、当然反省は必要だろうが、一度その方向に動いてしまったときに止める術のない人間の業というものを感じた。  
(大阪府 30代 男性 会社員)
- ◎内容が重たくて、見学している時少ししづらかった。  
(千葉県 11歳 男性 学生)
- ◎ハンセン病の人は、多くの人から差別され、とても苦しんでいたこと、重監房の扱いはとても酷く、監禁されていた人の苦しみは絶対に分からないと思います。人権の事も良く考えることができる「自分」になりたいです。  
(前橋市 11歳 女性 学生)
- ◎新聞で知ってから、子供達を連れて来ようと思っていました。まず、映像と資料を体験させた上で、今後この子供達がどうとらえていくのか見守りたいと思います。ハンセン病のみならず、いわれなき差別については、しっかり自分なりに考えられる人でありたい。  
(静岡県 50代 女性 不詳)
- ◎私は、今までハンセン病について全くと言って良いほど知らず、それによる差別、偏見も当然知らずにいた。でも、今日、ここに来て私はこの事についていくつも賢くなれた。単なる病で、ここまで人として扱ってもらえなくなる、過酷な労働と差別。だから私は、ハンセン病の人達に伝えたい。「私は、知っているよ。」  
(静岡県 12歳 女性 学生)

【この他にも、多くの皆様からご感想をお寄せ頂きました。有難うございました。】